

2022年10月7日号掲載



各地の話題

利府町

地域おこし協力隊から利府梨農家の担い手へ ～利府梨王子の挑戦～

利府町初の地域おこし協力隊として令和元（2019）年7月から着任した近江貴之さんおうみたかゆき（38）は、地元の梨生産者の元で研修を受けながら利府梨のPRを行っている。

交通量の多い道路沿いに直売所が立ち並び、買い求める人で賑わう利府梨だが、栽培農家の高齢化に伴う廃園により、現在の栽培面積は最盛期の半分以下の20haとなっている。

近江さんは研修の傍ら「利府梨王子」として、SNSや様々な取り組みを通して情報を発信している。最近では梨園をヨガ教室やウェディングフォトの会場として提供するなど、異業種との交流が盛んだ。

自身で開発し、昨年7月から販売している「金の利府梨カレー」も好評で、町のふるさと納税の返礼品として採用されている。

「楽しさや幸せを感じるのは、自分自身が作り出したものでお客様が喜んでくれたとき。ここには自分の裁量で実現した明確な達成感がある」と話す近江さんは令和5年4月に新規就農する予定だ。



【記事提供：利府町農業委員会】